令和元年度第3回医療・介護多職種連携会議
「多職種連携を推進するために」

上手くいっていること

多職種連携
・情報早い
・訪看と薬局との連携（服薬状況等）
・窓口が明確になっている、新見市内も
・在宅業務を行っている薬局からの情報も役立つ
・専門機関があるので連絡、連携しやすい
・CMは情報たくさんもっていて助かる（在宅）
・お薬手帳（もってるかバラつき有り）
・医療介護れんらく帳は有効に使える
・積極的に情報連携しやすい

顔の見える関係
・多職種連携会議で顔の見える関係が出来、人間関係を築ける
→その他の連絡などに良い影響がある
・新見だと顔の見える関係ができやすい、出来ている
・電話、集まる機会（哲西地域）を利用して情報共有している
→神郷は地域会議
・会議で顔を合わせるようになって連絡を取りやすくなった
・連携が気軽に取りやすい

広域連携
・県南とも地域医療連携室を通して情報共有出来てきている
・テレビ会議は県内の病院と連携をとるのに便利（病院まで行くには遠く、時間がかかるため）
・web会議を4病院で実施、県南病院（川大）とも情報共有

地域連携パス（新見版情報共有書）
・簡潔にまとまっていて見やすい、使いやすい
・使い分けがうまくいっている（連携パス、フェイスシート）
・連携パスを参考にしつつ、口頭で追加
・最初は情報共有書で情報提供
・新見地域外でも使用できる
（高梁では高梁市内からよりも新見の方からが多く届く）
・ケアマネさんから届くが情報がしっかりわかる
・状況がわかる。細かい連携、情報提供
・入所、入退院時、直近の状況がよくわかる
・居宅利用者が入所時に役立つ（入所希望の利用者情報を出す）
・入退院の連携や入院中の経過を把握するのに役立っている
・サービス事業所や現場で
共有書を共有できる



困っていることが何かわかれば、情報提供、連携出来るのでは！！

上手くいっていないこと

連携で困ること
・連絡なく病院に来られる
・包括からの情報共有書の提供が少ない
・窓口担当者はわかっているが、他の職員は知らない
・土日祝日の状態変化の時、入院の時、ケアマネさんに連絡が取れない、もしくはケアマネさんに連絡とすることが遅れることがある
一時的な状況で介護度の変更が検討されることがある
・事業所側からは連携パスだけでは不十分
→電話、フェイスシートで補っている
・担当のケアマネさんがわからない時もある
・連絡のタイミングが合わない（文書だけでなく話したい）
・カンファレンス時と実際の在宅での生活のギャップ
・デイサービス、ヘルパー等と直接に連絡を取りたい

連携方法
・活用できていないツール等がある
・ツール的なものの活用方法（電話、メール、ライン）
・電話をするのが遠慮な感じ
・医療・介護れんらく帳をうまく活用できていない
・自分の出した情報が役に立ったか？よくわからない

地域連携パス（新見版情報共有書）
・字が小さくて見えにくい
・たまに別紙が出てこない
・医療者以外の人が医療情報の記入に迷う
・薬の変更点など分かりにくいこともある
・薬局ではほとんど見たことはないが、退院時などは情報が欲しい

広域連携
・広域での連携が課題（新見外）
・大きい病院ほどMSWさんが捕まらない、こちら側もタイミング悪く、連絡つかない
・市外との機関との連携まだ難しい

医療と介護
・医師との直接やりとりするのは未だに話しにくいこともある（医師は忙しいので時間をとりにくいかもと遠慮してしまう）
・連携をとる中で、医療専門用語でいわれると分からないことがある。聞き返したくても聞きにくいこともある
・医療側の思う介護度と介護の現場で思う介護度に開きがある

困難事例
・困難事例が増えてきている。より一層、多職種での連携が必要と感じる

・Z連携の中に支援経過の欄を活用できれば

解決策の検討

○Z連携を有効活用する
→ツール的なもののSNSの活用方法をもっと検討
（個人情報等あるが・・・）
→Z連携を利用していない人へ情報を知らせる
→便利さを伝える方法
→会議に出られていない人にこの会議に出席してもらう

○web会議を有効活用する
→web会議などを活用し、広域での連携を図る

○緊急時、休日などの連絡先を明確化する
（れんらく帳などに記載するなどの活用も）

○医療・介護れんらく帳を有効活用する
→連絡帳の確認をして、薬局名を記入する

○多職種連携会議などで、医療・介護の知識、情報のすり合わせをする

○情報を共有するにあたり、垣根を取り払う。多職種の間のバリアフリー（相談しやすい環境）

○より質の高い情報共有をする
→不十分な点は必ず連絡を取り、不足の情報を得る
→退院時の情報を全く違うことがあるので、在宅にもどってからの情報も細かく伝える

○見にくい資料は拡大コピーする

○わからないことは、そのままにせず担当者に聞く

・歯科や薬局とも共有書で連携出来れば・・・

